

コロナ 第3波

「検査・保護・追跡」の 抜本的強化を

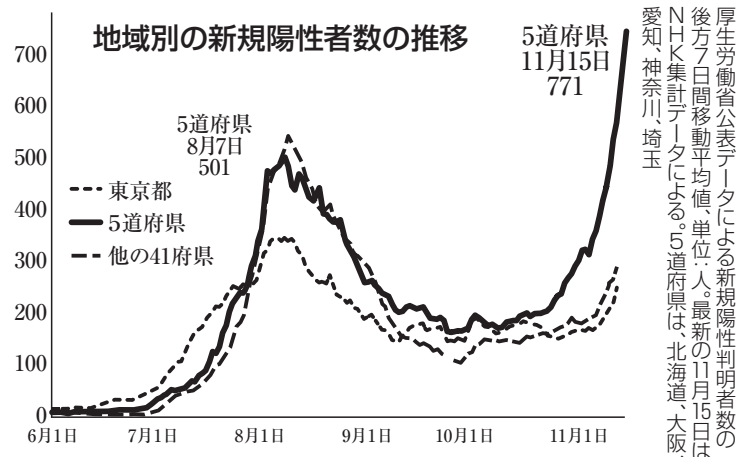
新型コロナウイルス感染拡大の「第3波」が到来。共産党の志位和夫委員長は12日、緊急対応を求める提言（下）を発表しました。

志位委員長が提言



政府の対策は従来の延長線上、PCR検査も8月の

ピーク時を下回ったままです。提言では▼「爆発的な感染」を抑止するために、従来のクラスター対策でなく、感染急増地での「面の検査」＝無症状感染者の把握・保護のための「大規模・地域集中的検査」



▼病院や介護・福祉施設、保育所や幼稚園、学校などでの定期的な検査＝「社会的検査」を強調。

陽性者の把握・保護へ、感染追跡とそのための体制強化を求めています。

- ①「大規模・地域集中的検査」「社会的検査」を、政府の大方針にすえ、推進を
- ②感染追跡を専門に行うトレーサーを確保し、保健所の体制を抜本的に強化する
- ③「医療崩壊」を絶対に起こさないために、医療機関の減収補てん、宿泊療養施設の確保を

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

衆議院比例代表は政党名を「**日本共産党**」と書きます

小選挙区は「候補者の名前」で

衆議院選挙投票方法

安倍前首相 証人喚問を

虚偽答弁・法違反 「桜」前夜祭



「桜を見る会」であいさすする安倍前首相。17年4月

菅首相の責任問われる

「桜を見る会」に安倍首相（当時）が地元・山口県の後援会員らを大量に招待し、その前日に都内の高級ホテルで開いた前夜祭について、東京地検特捜部が安倍氏周辺を捜査しています。

ホテルに支払われた総額が参加者から徴収した会費総額を上回り、安倍氏側が5年間で800万円超もの差額を補てんした可能性があります。安倍氏は国会答弁で、「すべての費用は参加者の自己負担。事務所負担は一切ない」とのべていま

した。

共産党の小池晃書記局長は「事実であれば安倍氏の答弁が虚偽になるし、明白な法違反」、「国政私物化の象徴ともいえる事件。あいまいにできない」とのべ（24日）、共産党は安倍氏の証人喚問を求めています。

菅首相は衆参院予算委員会（26日）で安倍氏の虚偽答弁についてただされたが、見解を示すことすら拒否。あまりに無責任です。

日本共産党